

アジア州 ～急速に進む成長と変化～

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力 主体的に学ぶ力
他者とかがわる力 社会貢献力

① 単元について(単元観・生徒観・指導観)

1 単元観

本単元は、学習指導要領の地理的分野「(1)世界の様々な地域」の「ウ 世界の諸地域」に関わる単元である。この項目は、「州ごとにさまざまな面から地域的特色を大観させる」ことを通して「それぞれの州の地域的特色を理解させる」ことをねらいとしている。

このねらいを達成するため、羅列的な知識を身に付けるのではなく主題を設け探究する中で、地域的特色を明らかにしていくような学習を行う。また、アジア州の中でも地域ごとに特徴があることを理解させる。

小学校社会科では、学習指導要領に『「主な国」については、近隣の諸国を含めて取り上げるものとする』とあり、アジア州の中でもいくつかの国に特化して学習を行っている。本単元は、小学校での既習事項をさらに深めるとともに、アジア州という地域を大観することにより、より広く学習することができる単元である。

2 生徒観

課題の設定	解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみたい」と思います。	91.6%
	解決しようとする課題について、「たぶんこうではないか」、「こうすればできるのではないか」と予想しています。	88.3%
情報の収集	課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	66.5%
	課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	67.9%
整理・分析	調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	67.4%
	情報を比べたり(比較)、仲間わけしたり(分類)、関係を見つたり(関係付け)して、何がわかるかを考えています。	79.5%
まとめ・創造・表現	自分の考えを積極的に伝えています。	68.6%
	自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	70.5%
その他	授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	87.6%

生徒アンケートの結果から、「課題の設定」に対する意識は高いものの、「情報の収集」や情報を図、グラフ、表などにまとめるといった「整理・分析」、また自分の考えを伝えるといった「まとめ・創造・表現」における学習過程に課題がある。このことから、主体的に課題に取り組もうとする意欲は高いが、情報の収集方法や施行した結果の伝え方のような問題解決の方法を習得することに課題がある。

3 指導観

指導にあたっては、主体的な学習となるように、個人思考やグループ討議、ジグソー学習を積極的に取り入れる。

アジア州の学習では、主題を経済成長に設定することで、アジア州の経済成長の特徴をとらえることを通して、世界の地域に共通する普遍的な知識を身に付けていくことができるようにする。

まず、アジア州の基本的知識をおさえることを通してアジア州を大観させる。また、アジア州の中の各地域についてジグソー学習を用いて学び合いにより理解を深める。また、主題の設定については、生徒が自ら考えることができるように、身の回りにあるアジア州でつくられたものを探ることにより、アジアの工業化を身近に感じさせるようにする。事前に工場を建設する際にどのようなことに考慮すればよいかを具体的に示す。さらに、「なぜアジア州の国の中に経済成長を遂げた国があるのか。また、アジア州の中の各地域が今後どのような成長を遂げていくと考えられるのか」ということについて根拠をもとに説明することのできる力を身に付けさせることにより、アジアだけではなく今後学習するさまざまな「世界の諸地域に関する地理的認識を養う」ことができる。

授業の中で「情報の収集」、「整理・分析」の時間を十分に確保することにより、「情報の収集」や「整理・分析」、「まとめ・創造・表現」を行う力を伸ばしていくことが必要である。また、相手に分かりやすく伝える力を育成するためにも、発表の機会を確保し、お互いに評価しあうことで力を伸ばしていく。学習の過程で根拠をもとに自分なりの考えを発表するという思考力・判断力・表現力を高めることができるようにする。

② 単元の目標と身に付けさせたい力について

1 単元の目標

- (1) 自然環境，産業，生活，文化といったアジア州の特徴を理解することができる。
- (2) アジア州の中で，経済成長が著しい地域が多くあることを理解する。さらにその理由も理解することができる。
- (3) アジア州の調査を通して，様々な資料を適切に選択，活用してアジア州について多面的・多角的に考察することができる。
- (4) アジア州の中の特徴を捉え，今後アジア州がどのような成長を遂げていくことになるのかを考察することができる。

2 単元の評価規準

ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な 思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象について の知識・理解
①アジア州の自然環境，産業，生活・文化，歴史的背景などの特色について概観する中で，特に経済成長に関心を持ち，設定された学習テーマを意欲的に追及している。 ②日常よく見かけるアジア製品などから，アジア州と自分たちの生活との関わりに関心を持っている。	①アジア州の経済成長について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ②広範なアジア州の経済成長の過程を，地域ごとに理解するとともに，州全体の地域的特色を考察している。	①アジア州の人口増加，都市と農村の変化，国家間の結びつきなどについて表した主題図や写真などの資料を収集している。 ②収集した資料から，アジア州の地域的特色について有用な情報を適切に選択して，それを基に読み取ったり，図表などにまとめたりしている。	①アジア州について，変化に富む自然環境と，都市化が急速に進む様子を概観し，それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 ②アジア州について，「経済の成長」の学習テーマを基に地域的特色を理解し，その知識を身に付けている。

3 本単元で育成を目指す資質・能力

(1) 本校の設定した資質・能力と本単元との関わり

資質・能力		特に身に付けさせたい力	本単元での育成・評価
知識・技能	知	①学習したことを自ら語れる力（知の構造化）	－
思考力・判断力・表現力	思	①根拠をもとに、正しい判断をする力（論理的思考力）	○
		②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力（批判的思考力）	○
		③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力（言語力）	○
主体的に学ぶ力	主	①自ら課題を見だし、解決しようとする力	○
他者とのかかわる力	他	①他者と協力して、課題を解決したり、目標に向かって取り組んだりする力	○
		②他者とのかかわりを通して、自分の考えを深めたり広げたりしようとする力	○
社会貢献力	社	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	○
自己形成力	自	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力	－
		②自信を持つ力	－

(2) 本単元で本校の設定した資質・能力を身に付けさせるための手立て

資質・能力	資質・能力を身に付けさせるための手立て
思－①	根拠をもとにレポートを作成させる。
思－②	複数の根拠をもとに意見を作らせる。
思－③	レポートをまとめ、クラスでの発表を受けて、自分の意見を決定させる。
主－①	「どうしたらいいのだろうか」と感じることでできる課題を設定する。
他－①	グループでレポートを作成させる。
他－②	他のグループの発表を聞いて、個人思考の場を設定する。
社－①	今後発展するのはどのような地域なのか理解させる。

③ 単元計画

1 単元の全体像（Ⅰ：学習内容、Ⅱ：学習活動、Ⅲ：単元として生徒に身に付けさせたい力）

Ⅰ アジア州について、Ⅱ アジアの産業の成長と変化を調べることを通して、
Ⅲ アジア州の地域的特色を理解を深め表現する力を身に付ける。

2 単元の終末で見取るパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準
あなたは、車とテレビと衣服を作る会社の新規工場建設チームの一員です。あなたの会社では新たに工場を建設することになりました。あなたは、どこに何を作る工場を建設することを提案しますか。社長を説得できるレポートを作成しなさい。	A 複数の根拠をもとに自らの結論を導き、聴き手に納得してもらうことのできるレポートを作成し発表することができている。
	B 根拠を基に自らの結論を導き、聴き手に分かりやすいレポートを作成して発表することができている。
	C グループと協力して、レポートを作成し、発表することができている。

3 学習内容と評価の計画

学習過程	時	○本時のめあて ●学習内容	評 価					
			関	思	技	知		
課題の設定	1	○アジアの国名や地形を調べることができる。 ●身の回りにあるアジア州で作られたものを探す。 ●アジア州にある国の名前を調べる。 ●アジアの地図に、山脈や川の名前などを記入する。 ●アジア各国にある建築物や名所を調べる。	◎			○	評価規準 (評価方法) 【資質・能力】 ア, エ-① アジア州の地図を完成させることができる。 (ワークシート)	※評価規準の太字ゴシック体の部分において本校が設定した資質・能力を評価する。
情報の収集	2	○東アジア, 東南アジア, 南アジア, 西アジア, 中央アジアについて調べてまとめる。 ●同じ地域を調べる生徒で集まってまとめる。	○		◎		ウ-② それぞれが調べた情報をもちより グループで協力してまとめようとしている。 (行動観察) 【他-①】	
整理・分析	3	○アジアの各地域の特徴について発表する。 ●各グループで発表する。 ●なぜ, 多くのものがアジアで作られているのか考える。 ●工場がどのようなところに立っているのか理解する。		○		○	イ-② アジアが成長している理由を 複数の視点から考えることができる。 (発表) 【思-②】	
整理・分析	4	○工場建設計画をたてることができる。 ●グループで考えて, 根拠となる資料を収集する。			○	○	ウ-② どこに工場を建てるのが現在最も有効なことなのか, 複数の根拠を用いて説明する資料を作ることができる。 (レポート) 【思-①, ②】 【主-①】	
創造・まとめ・表現	5	○レポートを作成することができる。 ●資料をもとにグループで考え, レポートを作成する。			○	○	イ-① グループで協力して レポートを作成することができる。 (レポート・行動観察) 【他-①, ②】	
実行	6	○企画を説明し, 各グループの企画の中からより良い企画を決定しよう。 ●グループごとに発表を行い, グループで考えをまとめる。【本時】		◎		○	イ-① 聴き手が納得することができるように根拠をもとにした資料を用いてプレゼンテーションを行うことができる。 (発表) 【思-③】	
振り返り	7	○自分の考えを企画にまとめる。 ●すべてのグループの発表を聞いて, どこに工場を建設することが最も有効なのか, 自分の意見をまとめる。 ●今後, アジアの各地域がどのような発展を遂げることになるのかについて自分の意見をまとめる。			○		イ-① 聴き手が納得することができるように根拠をもとにした資料を用いてプレゼンテーションを行うことができる。 (行動観察) 【思-③】 イ-① 今後, アジアの各地域がどのように発展していくのか 学習してきたことをもとに自分の意見をまとめることができる。 (ワークシート) 【社-①】	

④ 本時の学習

1 本時の目標

企画を説明し、各グループの企画の中からより良い企画を決定する。

2 本時の評価

評価規準（評価の観点）	評価基準	
ウ 聴き手が納得することができるように根拠をもとにした資料を用いてプレゼンテーションを行うことができる。【思-③】	A	複数の根拠をもとに自らの結論を導き、聴き手に納得してもらうことのできるレポートを作成し発表することができる。
	B	根拠を基に自らの結論を導き、聴き手に分かりやすいレポートを作成して発表することができる。
	C	レポートを作成し、発表することができる。

3 準備物

教科書、資料集、ワークシート

4 学習展開（6 限目/7）

学習過程	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・創造・表現	実行	振り返り
学 習 活 動			指導上の留意点			評価規準 (評価方法) 【資質・能力】
導入 (3分)	【本時のめあて】 企画を説明し、各グループの企画の中からより良い企画を決定しよう。					
	・本時のめあてを確認する。					
展開① (10分)	・テレビ・自動車・衣服のグループをそれぞれ三つずつに分かれ、自分たちの企画の概略を発表する。(1グループ5分程度) (H)…はっきり表現する		・聴き手が聴きやすいように、声や資料の提示の仕方などを工夫する。 ・聴き手は、メモを取りながら聞かせる。			ウ 聴き手が納得することができるように根拠をもとにした資料を用いてプレゼンテーションを行うことができる。(発表) 【思-③】
(10分)②	・グループ(4人)で質疑応答を行う。		・質問は、次の項目に注目しながら行うようにする。 項目 ①労働者のようす ②原材料の入手 ③市場			
(15分)③	・グループでの考えを他の意見を参考に修正する。 (J)…じっくり考える		・自分の結論を導き出した根拠を明確にする。(どの資料からどのように考えたのか) ・別の視点から見ると、様々な考えがあることに気づかせる。			
(12分)まとめ	・グループの考えを発表する。 (K)…くり返し挑戦する		・グループの考えを根拠を明確にして発表する。			